

令和3年度 山口市環境審議会 事前質問及び回答表

No.	関連ページ	内容	対応(回答)	担当課
1	p.5 1-③	「快適生活の確保」という文言ですが、快適と環境保全とは必ずしも一致しない場合もあると思います。安心・安全など、他の表現の方が望ましいと感じました。	本概要は現行の環境基本計画に基づいて作成しております。次期環境基本計画作成の際に参考にさせていただきます。	環境政策課
2	P7 進行管理指標	「担い手への農地集積率」の意味がわかりにくいのではないかと。	説明「※農地集積率…農地を所有し、又は借り入れること等により、利用する農地面積を拡大する率のこと。」を注意書きに加えてさせていただきます。	農林政策課
3	P9 ④ア	漠然としている。もう少し具体的に。	環境保全に効果の高い有機農業等の取組に対して交付される環境保全型農業直接支払交付金により支援を行いました。 (令和2年度実績:交付団体数:7、交付金額4,891千円) また、有機農業推進協議会において、有機農業の栽培技術の向上、有機農産物の流通・販売の促進、有機農業者や消費者等の交流活動などの取組を実施しております。	農林政策課
4	P9 ④イ	多面的機能支払い交付金事業 交付金額があった方がいい。	交付金額を追記します。(H30)392,498千円 (R1) 385,029千円 (R2)384,258千円	農林整備課
5	P10 ②エ	ヌートリア 昨年度の数値も示して増加していることを示した方がいい。	「ヌートリアの」を追記します。捕獲件数を追記します。	農林政策課
6	p.13 ②	浄化政策の推進について、昨今では瀬戸内海の水質浄化が進行し過ぎて、魚介類の減少を招いているとのニュースも目にしますが、どのような方向性で対応をされているのでしょうか。	榎野川河口域・干潟自然再生協議会との連携により、水質浄化に効果がある底生生物の再生活動等に取り組むほか、森林の再生事業等、本市の自然を生かした浄化対策を基本的な方向性として取り組んでいるところです。	下水道整備課
7	p.14 進行管理指標	「苦情対応件数」の捉え方について、苦情が寄せられた件数の中で対応済の件数をカウントしているのでしょうか。それとも苦情が寄せられれば、必ず対応されていて、苦情件数とイコールなのでしょうか。2022よりも2027の方が目標数値が下がっているのは、苦情が減少することが望ましい、との考えに基づいているのでしょうか。	対応が完了した件数を計上しております。また「生活公害(騒音、振動、悪臭、野焼き等)に関する苦情対応件数」を指標とすることで、市民が互いの生活環境に配慮して生活しようとする意識の深まりを推測することが出来ると考えており、苦情の件数の減少は望ましいと考えております。	環境衛生課

令和3年度 山口市環境審議会 事前質問及び回答表

No.	関連ページ	内容	対応(回答)	担当課
8	P15 ④ア	ポイ捨て防止、不法投棄防止の看板の配布の仕方は、地元の要請に応じて行うのか。また両者の看板の大きさは同じですか。	地元自治会等の要請により配布をしております。看板の大きさは同じ大きさとなっております。	環境衛生課
9	p.17 ②ア	取組の内容として、電柱の地中化、看板の撤去等は②に該当するのでしょうか。実際の取組はなされていますか。	「電柱の地中化」については、景観上好ましいものと考えますが、景観形成基準等において、地中化の義務付けなどは行っていないところです。 また、「屋外広告物(看板)」については、景観形成基準において、設置に当たって奇抜な色彩・デザインを避けることや、屋上への設置はできる限り避けることなどを定めておりますが、撤去の義務付けなどは行っていないところです。	都市計画課
10	P22 ①エ	関連して75～82頁の情報では少し読み取りにくいので、全小学校によるリサイクルプラザ等を社会見学が実施されているなら、その旨の記述を加えてはどうでしょうか。	小学生による、リサイクルプラザ等の社会見学の受け入れについての記述は、「環境目標4 環境保全を推進するひと・しくみづくり」のところで整理をしているところです。	資源循環推進課
11	P25 進行管理指標	最終埋立処分率を減らす方法としては、不燃・粗大ごみの、かたいプラスチックを減らすことが考えられるが、実践できない問題点は何か。	現在、一般廃棄物処理基本計画の中間見直し作業を進めているところであり、プラスチック資源循環促進法を踏まえる形で、かたいプラスチックの処理方法についても、検討してまいることとしております。	資源循環推進課
12	P26 ウ	BDFの精製・活用は終了するというのは、廃食用油の収集もやらないという意味か。	廃食用油はこれまでどおり収集することにしており、資源物ステーションにおける排出は可能としております。排出されたものは民間委託によりリサイクルをしております。	資源循環推進課
13	p.26 ウ	今後の廃食用油の利活用として、石鹼への利用などを考えておられるのでしょうか。	市で回収した廃食用油は、民間のBDF精製事業者においてリサイクルしております。市としては廃食用油の利活用として石鹼への利用は現時点では考えておりません。	資源循環推進課

令和3年度 山口市環境審議会 事前質問及び回答表

No.	関連ページ	内容	対応(回答)	担当課
14	P27 進行管理指標	<p>・菅内閣により2030年の目標値が2013年比46%減が示され、従来の目標の変更が必要であると思われるが、そのあたりの動きはどうか。</p> <p>・1世帯あたりの年間電力購入量 はじめの3つの値、小数点以下は不要ではないか。</p> <p>・同じく表の注釈で、2年遅れの実績という意味はR2年度の値は平成30年度の実績ということか。</p>	<p>・御指摘のとおり、国の高い目標を踏まえて、今後市としての目標数値の見直しを行う必要があると認識しております。</p> <p>今後、地球温暖化対策実行計画の見直し作業の中で検討してまいります。</p> <p>・計画の基準値にあわせておりますが、御指摘を踏まえて計画見直し時に改めることとして検討します。</p> <p>・平成30年度の実績値となっております。</p>	環境政策課
15	p.27 進行管理指標	市内での次世代自動車の普及があまり進まない理由は何でしょうか。	<p>次世代自動車にはハイブリッド車や電気自動車があり、ハイブリッド車については普及が進んでおりますが、電気自動車については、なかなか普及が進んでいない状況にあります。</p> <p>理由としては、現時点では、車両価格が割高なこと、走行可能距離が短いこと等が考えられます。</p>	環境政策課
16	P29 ク	山口市のCool Choiceキャラクター 山口市独自のCool Choiceキャラクター とした方がいいのではないかと。次頁に一部ダブルが、誇るべきことなので。	「独自の」を追記します。	環境政策課
17	p.31 ア	1行目の「適応策」に係る取組は「緩和策」のことでしょうか。ここでは適応策について触れられていないような気がしました。	エコフレンドリーオフィスプランは、クールビズやウォームビズなどの適応策が含まれておりますことから、適応策の記述をしております。しかしながら、記載が不明瞭な点がありますので、「適応策」を削除いたします。	環境政策課
18	P34 ②ア	小中学校の体育館等の屋根への太陽光パネル設置の状況はどうか。できれば推進してほしい。	<p>小中学校の体育館については、現時点において小学校3校、中学校4校に設置しています。</p> <p>今後、脱炭素社会の実現を目指す中で、地域交流センターや小中学校の体育館は、地域の防災拠点として、非常時における避難所にも指定しておりますことから、優先的に設置をしてまいりたいと考えております。</p>	環境政策課

令和3年度 山口市環境審議会 事前質問及び回答表

No.	関連ページ	内容	対応(回答)	担当課
19	P35 進行管理指標	気候変動や適応策に関心を持つ市民の割合が目標の達成が危ぶまれるが、「温室効果ガスの削減」と言った文言を加えるなり質問の仕方を工夫した方がいいかもしれない。46頁も同様。	御指摘を踏まえて、アンケートの設問内容については、環境基本計画の見直しの中で検討します。	環境政策課
20	p.36 ②-ア	市有林の維持管理について、規模はどの程度なのでしょうか。造林には針葉樹以外の植栽も含まれていますか。	市有林野のうち直轄直営林野の面積は9211.02haです。造林に針葉樹以外の植栽は含まれていません。	農林政策課
21	P42 進行管理指標	進行管理指標における「道の駅の農産物売上高」について、令和元年度(394,206千円)と令和2年度(464,921千円)を比較すると70,715千円増加し、既に目標最終年度の400,000千円を大きく上回っています。これは関係者によるご努力の成果と思われませんが、売上高の具体的な増加要因等について教えてください。	道の駅長門峡のリニューアルや、あいお・仁保の郷による市内を中心とした一次産業者および加工業者の掘り起こしによるところが一つの要因と考えております。	農林政策課
22	p.42 進行管理指標	認定農業者の「認定」の条件教えてください。	認定農業者制度は、農業経営基盤強化促進法に基づき、農業者が効率的かつ安定的な農業経営を実現するために作成される農業経営改善計画(5か年計画)を市町村が認定する制度です。 農業経営改善計画の認定は、(1)その計画の達成される見込みが確実であること、(2)その計画が市の基本構想に照らして適切であること、(3)その計画が農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切であることの3つの要件に当てはまる場合に認定されることとなります。	農林政策課
23	P44 指数の考え方	榎野川河口域干潟、きらら浜自然観察公園、国立山口徳地少年自然の家等をもっと活用して、自然体験型の環境学習の機会を増やす努力をしてほしい。	各関係団体等との連携を図り、自然にふれる体験型の環境学習の充実に努めてまいりたいと考えております。	環境政策課
24	P46 進行管理指標	気候変動や適応策に関心を持つ市民の割合が目標の達成が危ぶまれるが、質問の仕方を工夫した方がいいかもしれない。	御指摘を踏まえて、アンケートの設問内容については、環境基本計画の見直しの中で検討します。	環境政策課

令和3年度 山口市環境審議会 事前質問及び回答表

No.	関連ページ	内容	対応(回答)	担当課
25	p.50	秋穂・西条で検出されているテトラクロロエチレンの起源は分かっているのでしょうか。クリーニング由来ですか。	山口県環境政策課へ確認したところ、平成30年に数値が高いことが分かり、継続監視調査とされています。原因の特定には至っておりません。	山口県
26	p.51 =52	榎野川・南若川では下流でも大腸菌が多数検出されているにも関わらず、川水が流れ込む海域のY-D-4などでは菌数が激減しています。理由は判明しているのでしょうか。	山口県環境政策課へ確認したところ、理由の特定には至っていませんが、河川と海域では水量や塩分濃度、水の流れも異なることから、一般的にも河川の方が大腸菌群数が高い傾向があります。	山口県